

模擬裁判

CCT 2004
外科ランチョンタイムトーク

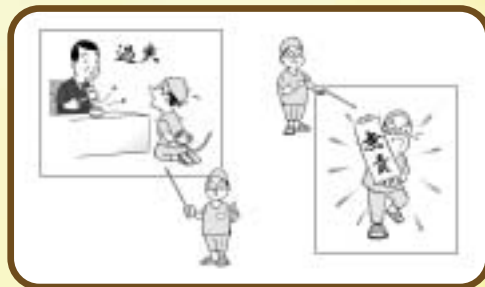
「優良施設でも訴訟に 巻き込まれる事がある、その対策」

心臓外科手術を題材にした裁判劇を法律家の皆さんに演じていただきます。
医療裁判の実際とその流れ、問題点の正しい理解と対処法を考える機会にしたいと思います。

協力: 医療問題弁護団 (<http://www.iryo-bengo.com/>)

心臓外科分野における民事医療過誤訴訟が、すこしずつ目立ち始めている。他方、民事の医療訴訟はこの3年の間、審理方法が大きく変革した。この裁判劇は、心臓外科手術を原因として死亡した事案について、東京地方裁判所医療集中部の審理方式を念頭にシナリオ化されたものである。医療事故が起きて、民事裁判になると、どのような点が論争されるのか、審理はどのように進んでゆくのか、劇とスライドを使いながら医師の方々にわかりやすい劇として作り上げました。さて、判決の行方は? 乞うご期待!!

医療問題弁護団 鈴木 利廣



心臓外科手術の適否、技術の巧拙、説明のあり方が裁判所の法廷で審議されている。それも医者でもない看護師でもない、医療など全くわからないはずの裁判官や弁護士に。この光景に違和感を感じない医療従事者はいないはず。しかし、これは紛れもない現実。社会のルール上しかたがないのでしょうか。あるいは何かがおかしいのでしょうか。おかしいとしたら、それは社会の信頼を失いつつも、何ら対策を講じることができない医者側に責任があるのでしょうか。現実の医療裁判を再現して皆さんに真剣にそのことを考えていただきたいと希望します。

南淵 明宏

- | | | | |
|-----------|--------------------|----------|--------------------|
| 【監修、裁判官役】 | 鈴木 利廣 (すずかけ法律事務所) | 【裁判官役】 | 小川 英郎 (ウェール法律事務所) |
| 【裁判官役】 | 五十嵐 裕美 (プルミエ法律事務所) | 【執刀医役】 | 石井 麦生 (すずかけ法律事務所) |
| 【原告本人役】 | 後藤 真紀子 | 【被告代理人役】 | 松田 耕平 (城北法律事務所) |
| 【原告代理人役】 | 大村 恵実 (ミネルバ法律事務所) | 【脚 本】 | 細川 大輔 (東京あさひ法律事務所) |
| 【ナレーション】 | 武田 志穂 (城北法律事務所) | | |